

## TIPSシリーズの刊行にあたって

「日本語教師のためのTIPS 77」シリーズは、日本語教育に関わる方々が、日本語教育のいろいろな分野の知識を整理したり、アイデアを得たりするリソースとなることをめざしています。自分の教室にすぐに応用できる知識・アイデアを提供する本シリーズは、多様な読者の方々に対応できる内容となっています。例えば、日本語教育に長年携わっている方々にとっては、ご自分の知識を整理、確認するのに使えるでしょう。一方で、日本語教育にこれから携わる方々や、経験が少ない方々にとっては、新しい知識や明日のクラスのアイデアを得るための情報源となるでしょう。大学や教師養成機関では、副読本や参考書として使用できます。また、日本語教育関係者のみならず、英語教育・国語教育といった「ことばの教育」の関係者にとっても役立つ内容が、豊富に含まれています。

本シリーズには、以下のような特徴があります。

- ・ 専門知識がなくても内容がわかるように、専門用語を避け、やさしく説明しつつ、重要な点がわかるように書かれている。
- ・ 教室での実際の教育活動にすぐに役立つように、実践的、応用的な側面を強調している。
- ・ それぞれのTIPSの説明は短めで、素早く読める。
- ・ 必要に応じて、図・グラフ・表・フローチャートなどを入れ、内容をわかりやすくしている。
- ・ TIPSは、教育活動にすぐ応用が利く77本を厳選している。
- ・ 執筆者は、各分野の第一線の実践者・研究者である。

本シリーズの各書が提供するTIPSは、「知っておいてほしい」「知っておくと得をする」「知っておかなければならない」などの情報が満載です。本シリーズを通じて、日本語教育という分野の奥深さと幅広さを実感していただければ幸いに存じます。

監修者

當作靖彦・横溝紳一郎

## はじめに

本書の執筆依頼を頂いたとき、まっさきに思ったことは、「今までの無駄遣いがついに世の役に立つ！」でした。私は、イギリスでの大学院生時代から今日に至るまで、パソコンやデジタル機器などのICT (Information and Communication Technology) に多額の投資(浪費?)をしてきています。購入したパソコンは数知れず。ついには、自分でパソコンを組み立てたり、プログラミングもかじるまでになりました。そのせいか、ここ数年、私のもとには、パソコンのトラブルや授業での活用方法などの相談が月に数十件ほど持ち込まれるようになりました。どうやらICTをうまく活用できずに困っている先生方は、少なくないようです。本書は、そんな現場の日本語教師の数ある「ヘルプミー！」の中から、「教師の負担を軽減し」、「授業にバラエティをもたらすもの」に焦点を絞って執筆された「日本語教師のためのICTマニュアル」です。

ICTに関して私が日々、疑問に感じることがあります。それは、授業でICTをどのように活用すればいいのかについて、誰も教えてくれないということです。紙の絵カードの作り方や使い方については、いろいろと指導されるのに、PowerPointで教材をどのように作成し、提示するかについては、誰も教えてくれません。「なんとなくできて当たり前」、もしくは、「誰も知らないから、そっとしておこう」という風潮があるように思えてなりません。

私のようなICTをなかば趣味とする人間は、独学で学ぶことができます。または、向学心にあふれ、自分で学んでみようと思えば書店に足を運ぶ先生もいらっしゃるかもしれません。しかし、そのようなやる気がある方でも、いざ本を手にとってみると、何から始めて良いかわからない状態に陥ってしまいがちです。その理由は、「ICTが教室という空間と具体的に結びつかないから」ではないでしょうか。ICTに関して、今日、多くの日本語教師が求めているものは、難解な理論や解説ではなく、ICTを日々の授業でどのように活用できるかという具

体的な実践例の共有だと私は考えています。

上記のICTと日本語教育の問題を整理すると、(1)誰もICTについて体系立てて教えてくれず、(2)ICTに関する本を読んでも自身の教育現場と結びつかず、(3)何から始めてよいかわからない状態となる。さらに、ICTに詳しい人に聞いても、その人の説明が難解であり、結果、ギブアップという状態が見過ごされている感を受けます。そこで、本書は日本語教師の視点からICTの活用方法を再考し、様々な授業実践例を紹介することで、ICT活用の敷居を下げることを目標としました。もちろん、実践例の中には、成功例だけでなく失敗例も含まれます。それらをみなさん自身の教育現場と照らし合わせながら読み進めるうちに、日本語教師に必要なICTリテラシーの基礎から実践までを体系立てて学ぶことができるようになっていきます。

本書を手にとってくださった読書のみなさまが、ご自分の授業で実際に試してみて、「うまくいった」や「私の教育現場では、こうした方がより効果があがる」などと感じたら、それをどうか周りの先生と共有していただければと思います。本書がそのたたき台となれば幸いです。

本書の執筆にあたり、たくさんの先生、学習者の力をお借りしました。みなさまの協力なくして本書の刊行は、実現しませんでした。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

ICTと日本語教育という可能性を秘めた分野に関して、のびのびと執筆するチャンスをくださり、懇切丁寧なアドバイスを送り続けてくださった監修者の當作靖彦先生、横溝紳一郎先生に心より感謝申し上げます。

タイトなスケジュールの中、「世の役に立つものを作りましょう」と最後まで支援し続けてくださった、くろしお出版の池上達昭氏と原田麻美氏にも心から感謝いたします。

2012年6月  
山田智久

## 目次

シリーズ刊行にあたって .....	3
はじめに .....	4
お読みいただく前に .....	6

### **Chapter 1** ICTの基本について学ぶためのTIPS ..... 11

1 パソコンの仕組みについて学ぼう .....	12
2 ICT用語を覚えよう .....	15
3 ICT授業に必要な機器を準備しよう .....	21
4 プロジェクターについて知ろう .....	24
5 便利なデジタルグッズを揃えてみよう .....	26
6 データを安全に保存しよう .....	30
7 便利なキーボードショートカットを覚えよう .....	33

### **Chapter 2** 授業の準備と教材作成のためのTIPS ..... 35

8 Wordで教材を作ろう(1) .....	36
9 Wordで教材を作ろう(2) .....	42
10 Wordで教材を作ろう(3) .....	46
11 PowerPointの使い方を学ぼう(1) .....	49
12 PowerPointの使い方を学ぼう(2) .....	53
13 PowerPointのアニメーション機能について学ぼう .....	58
14 PowerPointのアニメーション機能を活用しよう(1) .....	61
15 PowerPointのアニメーション機能を活用しよう(2) .....	64
16 PowerPointで絵カードを作ろう .....	67
17 PowerPointのスライド作成のポイントについて学ぼう .....	70
18 PowerPoint ファイルの印刷を工夫しよう .....	77
19 Excelでイラストを作ろう .....	80
20 スクリーンショットで教材作成の時間を短縮しよう .....	83
21 デジタル画像を自由自在に切り取ろう .....	86
22 ファイルサイズの大きい写真を圧縮しよう .....	90
23 音声ファイルを編集しよう .....	93

### Chapter 3 授業中にICTを活用するためのTIPS..... 97

- 24 パソコンを使った授業では事前準備をしっかりとっておこう ..... 98
- 25 ホワイトボードとPowerPointのハイブリッド型授業を見てみよう ... 104
- 26 PowerPointでテンポよく授業を進めよう ..... 107
- 27 Wordで板書をしてみよう..... 110
- 28 板書を撮影して授業の振り返りに活用しよう..... 114
- 29 デジタルカメラで作文添削をしよう ..... 117
- 30 デジタルカメラで学習者の発表を記録しよう..... 120
- 31 授業に動画を取り入れよう..... 123
- 32 会話練習に動画を取り入れよう ..... 128
- 33 ICレコーダーを授業で活用しよう ..... 132
- 34 スマートフォンを活用して発音練習をしよう..... 137
- 35 Wordのコメント機能を使って学習者の作文を添削しよう ..... 141
- 36 ICTを活用して作文の自己チェックを支援しよう..... 144
- 37 ICTを活用して学習者の読解活動を支援しよう..... 148
- 38 ICTを活用して読解教材を作ろう ..... 150
- 39 Webで漢字の書き順、派生を調べよう ..... 153
- 40 携帯電話のカメラ機能を授業で活用しよう..... 156
- 41 クラウドで教材を共有しよう..... 159
- 42 データが入ったDVDを作ろう ..... 165

### Chapter 4 情報検索と情報整理のためのTIPS..... 171

- 43 Google検索を使いこなそう..... 172
- 44 教材に使える写真をWebで探そう ..... 177
- 45 教材に使えるイラストをWebで探そう..... 182
- 46 教材ファイルをポートフォリオ化しよう..... 185
- 47 パソコン内のファイルを素早く見つけよう..... 189
- 48 ファイルにタグを付けて検索しやすくしよう..... 193
- 49 書籍をデジタル化しよう ..... 195
- 50 複数のパソコンでデータを同じ状態に保とう..... 198
- 51 複数のパソコンでメールデータを同じ状態に保とう ..... 201
- 52 サイズの大きいファイルの受け渡しをWebで行おう ..... 204

53	よく使う単語や文章は単語登録をしておこう.....	207
54	重要なWebサイトはPDFファイルで保存しよう.....	210
55	Webサイトの過去の情報を探してみよう.....	213
56	デジタル機器の説明書はPDFファイルで保存しよう.....	216

## Chapter 5 日本語教育で使える便利なフリーソフト.....219

57	Webでフリーソフトを探してみよう.....	220
58	PDFファイルを作ろう.....	223
59	なぞり書き練習シートを作ろう.....	227
60	成績集計作業を効率よく行おう.....	230
61	漢字の練習問題を作ろう.....	233
62	学習者のふるさとを訪ねてみよう.....	236

## Chapter 6 パソコントラブルを解決するためのTIPS.....239

63	読み方がわからない漢字を入力してみよう.....	240
64	間違って削除してしまったファイルを復元しよう.....	242
65	プロジェクターのトラブルを解決しよう.....	246
66	パソコンのシステムをバックアップしよう.....	249
67	パソコンの掃除をしよう 基礎編.....	254
68	パソコンの掃除をしよう 応用編.....	257
69	パソコンの不具合を修復しよう.....	260
70	コンピューターウイルスの対策をしっかりと行おう.....	262
71	デジタルに強くなろう.....	268

## Chapter 7 ICTの可能性について考えるためのTIPS.....273

72	日本語教師のための便利なWebサイトを見てみよう.....	274
73	iPad & iPodが持つ可能性について考えてみよう.....	279
74	日本語学習で使えるアプリを見てみよう.....	284
75	SNSを授業に取り入れてみよう.....	288
76	ICTが持つ教育効果について考えてみよう.....	293
77	ICT活用に関する2つの軸について考えてみよう.....	298
	第2版刊行にあたって.....	302

# TIPS!

## 1

## パソコンの仕組みについて学ぼう



パソコンは、どんな部品で構成され、どういう仕組みで動いているのでしょうか。知っていそうで知らない、パソコンの仕組みについて学んでみましょう。

みなさんは普段何気なく使っているパソコンが、どのようなパーツから構成されているかをご存じでしょうか。メモリやハードディスクなど、耳にしたことはあるけれど、それらがいったいどういう役割を担っているかについては、思いのほか、知られていないものです。まずは、パソコンの基礎である「仕組み」から学んでみましょう。

家電量販店のチラシを見るとパソコンの説明書きにはCPU、メモリ、ハードディスクなどの単語が載っています。これらの3つは、パソコンを動かす上でそれぞれとても重要な役割を担っています。

CPU(Central Processing Unit:中央処理装置)は、人間で例えると脳に当たります。頭の回転が速い人、同時に複数の仕事ができる人が存在するように、パソコンのCPUにも、処理速度や同時に処理できる仕事量の違いがあります。

メモリは、机の広さだと考えるとわかりやすいです。小さな机の上には本を何冊も広げることできませんが、広い机の上だと同時に何冊もの本を広げることができます。これが、メモリの大きさです。つまり、パソコンに内蔵されているメモリが大きければ大きいほど、いくつもの作業を同時に進めることができます。パソコンを使っていてストレスを感じるのは、Webで情報を集めながらWordに切り貼りしつつ、メールで返事をして、などのように同時に複数のソフトを起動している時です。これは、メモリが不足してパソコンの動作が遅くなっているからです。ちなみに本書の執筆時点で、メモリの容量は4GBもあれば十分です<sup>1</sup>。

# TIPS!

## 8

## Word で教材を作ろう(1)



授業のプリント作成に使える Word の基本的な機能について学びましょう。

まずは、教材作成に必要な Word の基本操作を学びましょう。ここでは、(1)文字のサイズを変える、(2)ルビを振る、(3)下線を挿入する、(4)表を作成する、(5)四角い箱の解答欄を作成する、の5つについて学びます。

[文字のサイズを変える]

Word は、自由に文字のサイズを変えることができます。ここで質問ですが、みなさんは、Word で教材を作成するとき、どのフォントサイズで作っているのでしょうか。いったい学習者にとって読みやすいフォントサイズは、あるのでしょうか。

以前、日本語学習者に、次の4つの中で、どれが一番読みやすいかと聞いてみたことがあります。

- 1 佐賀市の人口は、23 万人です。  
(フォントサイズ 11 ポイント)
- 2 佐賀市の人口は、23 万人です。  
(フォントサイズ 12 ポイント)
- 3 佐賀市の人口は、23 万人です。  
(フォントサイズ 14 ポイント)
- 4 佐賀市の人口は、23 万人です。  
(フォントサイズ 16 ポイント)



# 24 パソコンを使った授業では 事前準備をしっかりとしよう



ペンとホワイトボードの授業とは異なり、パソコンを活用した授業では、事前の準備がキーポイントとなります。どのような準備をしておけばよいのでしょうか。

ある学会で発表者が発表を始めようとしたところ、「Windowsは、更新ファイルを構成しています」という表示が出て、パソコンの操作ができなくなった場面に遭遇したことがあります。結局、発表者は、20分もの間、PowerPointスライドを使わず口頭のみで発表をしていました。

私も授業でパソコンを使い出した当初は、いろいろな失敗をしていました。授業を始めようとしたところ、パソコンの動作がもたついて授業がなかなか始められなかったり、授業中に突然操作ができなくなったりなどなど、失敗の例を挙げればきりがありません。これらの失敗で怖いのは、授業が中断されるのはもちろんのこと、学習者との信頼関係が壊れることです。「無理してできないことをするな！」と学習者に思われるのだけは避けたいものです。

Tips 24では、数々の失敗から学んだ、「パソコン活用授業、これを準備しておけば、オーケー！」というものを紹介します。ポイントは、(1)授業で使うソフトは、あらかじめすべて起動しておく、(2)パソコンに授業の邪魔をさせないという2点です。

## [授業で使うソフトを起動しておく]

授業を始める前に、パソコンや周辺機器を起動するだけでは十分ではありません。授業で使うであろうソフトを事前に起動しておくことが重要です。必要になってから起動しては、授業のリズムが崩れてしまいます。一例として、私が授業を始める5分前に起動しておく



今やすっかり検索サイトの代名詞的存在になった Google。さらに便利に使うための Tips について学んでみましょう。

Google は、世界の情報を整理することを理念に掲げ、ここ数年で急成長している Web 世界の巨人です。もちろん、Web 検索エンジンには、Google 以外にも、Yahoo!、goo、Excite、MSN Japan、Baidu、Bing などいろいろありますが、現在世界中でもっとも使われているのは、やはり Google ではないでしょうか。この Google をもっと便利に使うための Tips を見ていきましょう。

#### [Google 検索の仕組み]

Google で検索をすると、上から順番に候補が列挙されます。この順番を考えている仕組みが、「Page Rank」と呼ばれる機能で、Google は、特にこのシステムが優れているといわれています。Page Rank は、簡単な言い方をすると、たくさんの人がリンクをしているサイトが検索語に対して妥当だと判断し、上位に表示するという仕組みです。

試しに、「ホワイトハウス」と日本語で入力して検索してみると、600 万ある候補の中から、アメリカ合衆国のホワイトハウスが一番上に表示されます。これは、多くの人が、ホワイトハウスという語に対して、アメリカ合衆国のホワイトハウスの公式サイトにリンクを張っているため、ホワイトハウスを名乗る個人のサイトや業者のページなどが上位に来ることは、まずありません。

# 57 Webでフリーソフトを 探してみよう



本書でもたびたび登場するフリーソフトの数々。フリーソフトは、どのWebサイトで見つけるとよいのでしょうか。

パソコンソフトには、大きく分けて、店頭やWebで販売されている有料ソフトと無料で使えるフリーソフトの2種類があります。一般的に前者は、多機能で購入後のサポートがあることが多いです。一方、フリーソフトは、無料である代わりに、機能が制限され購入後のサポートがないことが多いです。

仕事や趣味で多機能なソフトを必要とする方は別ですが、私たちの日常では、多機能なソフトが必要になることは、それほど多くはありません。むしろ機能が限定されている分、フリーソフトのほうがシンプルで使いやすいこともあります。まずは、フリーソフトを試してみ、より多機能なものが必要になったときに、有料ソフトを購入するとよいかもしれません。Tips 57では、自分にあったフリーソフトを探すTipsをご紹介します。

Webには、フリーソフトを集めたサイトが多数存在します。その中でも、「Vector」<sup>1</sup>と「窓の杜」<sup>2</sup>は、掲載しているソフトの量が多く、レビューも詳しいので、昔から定評がある代表的なサイトです。

Vectorと「窓の杜」、両者の違いは、量か質かです。Vectorは、週に2回新しいソフトが追加更新されるため、膨大な数のソフトを掲載しています。一方で、「窓の杜」は、サイト運営者がソフトを厳選し、詳しいレビューを付けて掲載しています。量のVector、質の「窓の杜」といった感じでしょうか。たくさんの中から希望のソフトを探したい場合は、Vectorで、多くの人に使われていて動作が安定しているソフトを探したい場合は、「窓の杜」というように使い分けるとよいでしょう。

# TIPS!

## 63

## 読み方がわからない漢字を入力してみよう



パソコンで漢字圏の学習者の氏名を入力していると、どのように表示させるのかわからない漢字に出合うときがあります。どうやって入力すればよいのでしょうか。

漢字圏の学習者の名前をフルネームで入力するときに大変な苦労をされたことはありませんか。私は今学期も、「婧、肅、董、蓉、敖、宁」など難しい漢字にたくさん出合いました。これらは、パソコンでどのように入力すればよいのでしょうか。

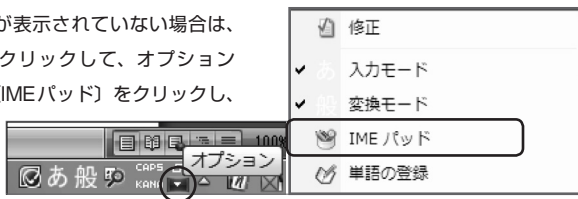
1つは、読み方を手がかりに探していく方法です。例えば、「蓉」という漢字を「ヨウ」と読むんじゃないかなと予想し、変換していくやり方です。ただ、読み方の見当がつかない漢字だと、この方法は使えません。「冀」という漢字、読めるでしょうか。恥ずかしながら、私は読めませんでした。このような時は、漢字の読み方を推測するよりも、直接「手書き入力パッド」で入力するほうが効率的です。

「手書き入力パッド」は、IME(Tips 53 参照)という機能に含まれています。

- 1) IMEパッドがIME内に表示されているかを確認する。



- 2) IMEパッドが表示されていない場合は、下向き▽をクリックして、オプションを表示し、(IMEパッド)をクリックし、表示させる。



# 72 日本語教師のための便利な Web サイトを見てみよう



Webには、無数の情報が点在しています。その中で日本語教師が有効活用できるWebサイトには、どのようなものがあるのでしょうか。

Tips 72では、日本語教師の授業を組み立てるヒントとなる情報を、日本語教師の仕事全般から学習者の自習を支援するサイトに渡って集めてみました。現職の日本語教師だけでなく、これから日本語教師を目指すという方にも有意義なWebサイトばかりです。

[日本語教師に関するサイト]

- ・ NIHON MURA <http://job.nihonmura.jp/>  
主として、日本語教師の就職活動に焦点を当てたサイト。日本語教師の募集情報などが掲載されている。
- ・ 日本語教師の集い <http://www.e-tsudoi.com/>  
就職相談だけでなく、「教え方談義室」や「意見交換の場」などがある。どのように文法項目を導入するか、授業に使える映画には、どのようなものがあるかなどの意見交換が行われている。
- ・ 日本語オンライン <http://nihongo-online.jp/net/>  
求人、就職、日本語教育能力検定試験、大学院についてなど、いろいろな掲示板がある。これから日本語教師として働きたい方からの質問なども多い。
- ・ だから日本語教師はやめられない <http://kanjifumi.seesaa.net/>  
篠崎大司氏が運営するサイト。日本語教育能力検定試験に関する情

## 第2版刊行にあたって

本書が刊行されたのは2012年の夏でした。刊行前は、日進月歩のICTの情報を書籍として残すことの意義はあるのかといった不安もありました。事実、ICTの分野は、一年といわず数ヶ月で新たなテクノロジーが出現したり、Webサービスもどんどん新しいものが出てきています。それでも刊行に踏み切ったのは、「日本語教師のICTリテラシー向上に貢献できるものを書籍として体系的に整理しよう」という思いが、くろしお出版編集部と著者との間で共有できたからです。

さて、あれから4年。改めて本書を読み返してみると、多くの掲載Webサイトが現在も運営されていることがわかりました。やはりWebの世界においても良質なものは残るのだなと改めて感じています。一方で、消滅したり、運営者が変わったりしてしまったWebサイトもあります。これらを踏まえて第2版では、次の3点について改訂を行いました。

- ・ アドレスが変更となったWebサイトの更新
- ・ iPhone、iPadのアプリの更新
- ・ より良いWebサービスが存在するものについての差し替え

なお、OSはWindows 7、オフィスソフトはOffice 2007のままとし、あえて修正を行っていません。その理由は、本書が最終的な目標として掲げている「自立したICTリテラシー」を促すことを願っているためです。OSやソフトのバージョンが変わるたびに、ひとつひとつ操作方法を確認していったら、いつか必ず追いつけなくなってしまいます。理想は、どんな道具を使ってもゴール(教育目標)を達成できることであり、小事に拘泥することなく本質的な能力を育ててほしいというのが本書の狙いだからです。どうぞご理解ください。

最後に、ICTという非常に変化が早い分野において、『日本語教師のためのTIPS77② ICTの活用』の第2版が刊行されることを嬉しく思います。本書が、変わらず日本語教師のICTリテラシーの向上に貢献できれば幸甚です。

2016年10月 山田智久